

テーマ：安全安心のまちづくり

分類	課題・解決策	項目	実態・意見・要望
交通	課題	バス	市営バスの空気輸送が税金の無駄ではないかとの指摘。
		バス	運転手不足が深刻。
		バス	年間4,000万円の公的補助に対し、乗車2～3人の路線が存在し非効率。
		バス	過去に利用低迷で運行中止となった地区あり。
		バス	公共バスが少ない
		バス	バスステップが高い
		バス	運転手不足
		バス	大型バスを運行しているが、利用者が非常に少ない
		バス	停車場所と配布される時刻の表示を大きな字で分かりやすく示して欲しい
		バス	公共交通の運行は時間設定された内容で良いのか
		バス	バス利用者が少ない
		バス	スクールバスに一般の人にも乗れるようにして欲しい
		バス	「高齢者はバスに乗りにくい」「通院したいがバスの本数が少なすぎる」
		バス	「バス利用者が少ない」「過疎地が人口減少でバスの利用者が減少」「公共交通、バスの時間、ルートなどが分かりにくい」「交通事業者には、乗車人数が多い車でない規定があるかもしれないが、小型にはできないか」
		バス	「バスの便数が少ない」
		スクールバス	「近年の猛暑、クマなどの鳥獣被害を考えると、小中学生全員のスクールバス利用ができるように」
		ら・くるっと	布原地区に**コミュニティバス「ラクルット」**が未運行。
		ら・くるっと	既存ルート（西方小学校前→南部方面）の路線延伸ニーズがある。
		ら・くるっと	ら・くるっとを唐松までにして欲しい
		乗合タクシー	乗り合いタクシーは利用率が高く台数不足の一方、周知不足、土日未運行、目的地の限定など利便性に課題。
		乗合タクシー	乗り合いタクシーの運行範囲が一部地域に限定されており、市内全域で利用できない。
		乗合タクシー	土日が運休で、通院・買い物・観光利用ができない。
		乗合タクシー	病院の午後診療（17時頃まで）に間に合わず、帰宅便が少ない。
		乗合タクシー	サービスの周知不足・予約の手続きが煩雑で利用率が低い。
		乗合タクシー	運転手不足により台数確保が難しい。
		乗合タクシー	乗合タクシー（11月開始、南部・300円）の認知不足、目的地まで行けない等のエリア制約。
		乗合タクシー	南部地区で11月開始も、住民説明不足で認知度が低い。
		乗合タクシー	地区外降車場所が限定・途中下車不可など利便性に課題。
		乗合タクシー	乗り合いタクシーの活用が本当に良いのか
		タクシー助成券	タクシー券補助額（500円）や枚数が足りず、実質的な支援が不十分。
		タクシー助成券	タクシー利用者へ半額助成券を出す
		福祉タクシー	福祉タクシーは診療所まで便利だが、目的地での乗り換えが高齢者負担。
		タクシー	「タクシー料金が高い」「タクシーチケットで遠方は少なすぎる」「タクシーの台数が少なすぎる」「乗り合いタクシー、その他がない」
		タクシー	「タクシー券増額」「福祉タクシーの利便性向上」「タクシー代が高くなり利用できない」
		タクシー	「タクシー代が高い」「夜、タクシーがない」
		J R	JRの運行本数が少なく、市民ニーズに追従できていない。
		J R	新見駅のエレベーター未設置など、バリアフリー化が不十分。
		J R	JRの切符の購入について、高齢者は買いにくい
		J R	「切符購入が難しい」「新見駅の切符を買うのが難しい。特に高齢者の声が多い」
		J R・バス	「JRの便数が少ない」「JR、バスなど公共交通の便が段々悪くなっている」「免許を返上した後、バスの便が少ない」「ら・くるっと100円の料金と他地区乗り合いタクシーの料金の差が大きすぎる」
		公共交通	「乗り合いタクシーやJRの無料化を」
		公共交通	「公共交通の利用者減少」
		移動困難	自動車を運転できない高齢者などの移動手段が不足し、買い物が困難との声が多数。
		移動困難	高齢化に伴うJR駅・病院等へのアクセス困難。

テーマ：安全安心のまちづくり

分類	課題・ 解決策	項目	実態・意見・要望
		移動困難	バス路線が一部方面に偏在し、JRは通勤・通学で使いにくい。
		移動困難	免許返納後の外出控え・買い物難民の増加。
		移動困難	生活圏である広島県東城町方面への公共交通が不足。
		移動困難	タクシー不足
		移動困難	バス、タクシーの運転手不足
		買い物	移動販売への依存は持続性に不安。
		買い物	「店舗がない」
		買い物	「高齢者の買い物、通院の便がない」
		買い物	「商店が減った。下熊谷はゼロ」
		インフラ整備	道路インフラの劣化：国道の白線消失箇所、坂トンネル内の照明暗さ。
		インフラ整備	道路整備、現状1.5車線化にとどまっており2車線にして欲しい
		市内外と 結ぶ交通	「市外との乗り合いタクシーの連携（真庭方面の病院）」「通院時のバス等の直通便の配備」
		市外への交通ア クセス	「真庭への交通アクセスが不便」「新見市だけでなく真庭地域も含めた取組」
		道路整備	「県道沿いの草で見通しが悪い」「道路の整備を」
		高齢者の運転	「運転免許の返納」「免許返納後、家庭の支援」「バス、電車に乗る人が少ない。しかし、車を運転しない人はどうするのか」
		通行の確保	「山間地域は道路が荒れている」「県道市道と家の前の境まで、除雪をきれいにしてほしい」
		免許返納	「免許返納したら買い物などできない」「県道、JRから遠い、地域の交通手段が自家用車であり、免許返納者などの対応が困難」
		交通困難者の 把握	「ひとりで病院に行けなくなっている人がいる」「買い物支援の必要な方の把握」
		文化財の保 護発信	「木造駅舎の発信」
	解決策	バス	バス路線の見直し：偏在の是正、生活導線・医療機関など必須目的地への接続性の改善。
		バス	途中下車・降車地点の柔軟化、需要に応じた停留所設定。
		バス	バスは廃止を含め再編し、乗り合いタクシーへ資源配分を検討。
		バス	スクールバスの一般利用開放（安全確保の上での規則運用の柔軟化）。 人材確保
		バス	運転手確保策の多角化（例：外国人技能実習生の活用案の検討）。
		バス	スクールバスと市営バスの相乗り制度
		バス	スクールバスの一般市民の利用が出来るようにして欲しい
		バス	運転手の賃金アップ
		バス	距離に応じた料金設定（例：東城まで500円）。
		バス	公共バスのダイヤの啓示を大きな文字にする
		バス	「バスを小型化し、便数を増やす」
		バス	「バスの運行経路をバス停に明確に表示する」「運行時刻もバス停に大きくはっきり表示を」
		バス	「自宅まで送迎手段でバスのコンパクト化」「人口減に合わせ、乗り物のスリム化」「新見駅の新築はスリムでいいので、地下道をなくし」
		公共交通	「公共交通の便数を増やす」
		ら・くるっと	路線延伸の働きかけ：振興会として、ラクルットの南部方面への延伸を市へ継続要望する。
		ら・くるっと	ら・くるっとの運行エリアの拡大
		乗り合いタクシー &ら・くるっと	「乗り合いタクシーを大佐外にも運行を」「ら・くるっとと乗り合いタクシーの料金を同額に」「ら・くるっとが大佐地域にあると良い」
		乗合タクシー	JRの増便、乗り合いタクシーの運行範囲拡大・土日運行・台数増加を要望。
		乗合タクシー	人材不足対策として乗り合いタクシーの自動運転化を検討する提案。
		乗合タクシー	現状把握のため、乗り合いタクシー利用者へのアンケート調査を実施。
		乗合タクシー	市内全域へのサービス拡大を早期に実施。
		乗合タクシー	新見駅、石蟹駅、井倉駅、上江洲医院など主要施設への直通運行を追加。
		乗合タクシー	土日運行と夜間延長を実施し、生活時間帯に即したダイヤ編成を行う。

テーマ：安全安心のまちづくり

分類	課題・解決策	項目	実態・意見・要望
		乗合タクシー	サンパークなど商業施設と連携し、買い物支援・積み込み補助を導入。
		乗合タクシー	利用者アンケートの実施により、満足度や不便箇所を定期的に把握。
		乗合タクシー	乗合タクシーの改善：エリア拡大（東城方面への拡張）。
		乗合タクシー	サービス内容の積極的な周知・PR。
		乗合タクシー	区画単位の説明会やデモ乗車等での集中的周知。
		乗合タクシー	「まず使ってもらい、改善を重ねる」段階的PDCAの明文化。
		福祉タクシー	高齢者の乗り換え負担を減らす一体型ルート設計。
		乗合タクシー	「大佐地内には食料品販売店がなく、地域外でも近くの商店まで乗り合いタクシーが利用できるようにしてほしい」「乗り合いタクシーの活用を」
		乗合タクシー	「目的地まで行くことのできる乗り合いタクシーがあればいい」「高齢者の免許返納に合わせ、市内を何区画かに分けて巡回バスを出す」「地域の住民が高齢者を病院に運ぶのは危険であり、行政の仕事」
		乗合タクシー	「デマンドで家の近くで乗り降りできるようにする」「乗り合いタクシー的な仕組みを作り、規制を緩和する（決まり決まりと言わない）」
		乗合タクシー	乗り合いタクシーの運用ルールを検討を。最寄りのバス停では使いにくい」「タクシー券は、免許返納前と同等に近いくらいのタクシー券を出す（現状月 3 0 0 0 円）」「タクシーの補助金を更に出す」
		乗合タクシー	「乗り合いタクシーを導入してほしい」「乗り合いタクシーを市内（市街地？）まで運行」
		タクシー助成券	タクシー券補助の増額・対象層拡大（高齢者・障がい者等）。
		タクシー助成券	タクシー助成制度の見直し
		J R	JRの切符購入の手助けが観光協会では出来ないか
		移動困難	支援制度の分かりやすさ向上：バス・JR・乗合タクシー・タクシー券等の役割分担と連携方法を整理し、利用者向け案内を整備。
		移動困難	生活圏に即した広域連携の強化：東城町方面へのバス・タクシー運行の再開／補助の拡充（高梁市備中町の事例を参照）。
		移動困難	布原地区の移動手段確保：タクシー運行の導入を市へ要望する。
		買い物	奥出雲の事例を参考に、廃校活用 of 地域店舗や店舗送迎サービス導入。
		買い物	スーパー連携の移動販売や地域運営による買い物ツアーの実施。
		買い物	「買い物の配送」
		買い物	「公設民営で店舗を作る」「移動販売のルートを日替わりに」「田治部で試行している買い物支援を東に延伸する」
		移動販売車	「移動販売車」
		インフラ整備	インフラ補修：国道白線の再塗装、坂トンネル照明の増設・増光。
		近隣連携	「近隣地域と一緒に考える」
		防草対策	「県道の草に対し防草シートの活用を」
		近助	「隣近所で助け合って送り迎えする（送迎できる人を登録制にする）」
		コールセンター	「送迎にコールセンターの活用」
		木造駅舎を発信	「岩山駅はマニアが多く訪ねて来る。海外からも来る。駅に来た人がノートに感想を書いている。このことを新見市で広く世界に向けて発信してほしい」「交流人口が増える」
		その他	自動運転車両の実証運行を検討し、人材不足を構造的に解決。
医療福祉	課題	産科小児科	市内に産婦人科がなく、出産・小児ケアへの不安が大きい。小児科や夜間救急も不足。
		産科小児科	市内に産科・小児科がなく、出産・育児に不安を感じる家庭が多い。
		産科小児科	地域で出産できないため移動負担が大きい。
		産科小児科	産婦人科がなく出産できない。
		産科小児科	産婦人科、小児科が無い
		産科小児科	休日、夕方から夜間の子供の急患を受け入れてくれない病院が多い
		産婦人科	「新見市内で出産できない」「産婦人科の病院がない」
		医療体制整備	重篤患者は市外搬送となる現状があり、市内医療レベルへの不安。
		医療体制整備	市内に救急指定病院がなく、市外搬送が常態化。受入先未決定による「たらい回し」事例の不安。
		医療体制整備	救急時の受け入れ拒否の報告あり。
		医療体制整備	夜間診療・救急対応が十分でなく、市外搬送が常態化。

令和 7 年度 議会報告意見交換会における意見とりまとめ一覧表

テーマ：安全安心のまちづくり

分類	課題・解決策	項目	実態・意見・要望
		医療体制整備	休日診療が月1回と少なく、受診機会が限定。
		医療体制整備	診療所の担当医が日替わりで、継続相談がしにくい。
		医療体制整備	採算性理由の医療機関閉鎖リスク。
		医療体制整備	専門外治療に関する医療情報提供の不足。
		医療体制整備	ドクターヘリが整備士不足で運航停止となる事態への懸念。
		医療体制整備	すべての診療科が欲しい
		医療体制整備	病院の対応について、夕方・休日など受け付けてもらえない。 たらいまわしなど不満が多い
		医療体制整備	救急車の運営について、先ず市内の病院でなく県南への希望者は県南への搬送をして欲しい
		医療体制整備	地域に高度な医療機関が無い
		医療体制整備	医師不足、医療介護人材の確保が難しい
		診療科目	「救急時の専門病院の受け入れがない」「大佐で医療設備が充分ではない」「市内病院への産婦人科医師の手配」
		診療科目	「出産できる病院がない」「小児乳児病院がない」
		診療科目	「複数の病院が多く、いろいろと診察してもらわなければならない」
		医療機関	「病院の統合ができないか」「医療機関の待ち時間の負担が大変」「小児科の増設」「産婦人科の増設」
		医療機関	「地域内に医療機関が少ない」「病院があちこちにある」「夜間、体調が悪くなると、病院になかなか受け入れてもらえない」
		医療機関	「出産が難しくなっている」「夜間、小さい子が診てもらえないことが多い」「緊急の病院がない」「病院の統廃合」「夜間のドクターヘリ運行」
		医療機関	「市内の病院に行っても県南の病院に送られる」「専門がなく、市外の病院に行くことがある」「急な病気はどうにもならないが、倉敷岡山方面へ通院する人が増えた」「夜間受付できる病院を」
		医療費	高齢者医療費（3割負担）への懸念と、生活支援の不足。
		医療費	医療費が高い
		民生委員	民生委員・児童委員の担い手不足と長期固定化。
		民生委員	民生委員・施設職員間の情報共有が個人情報との壁で進まない。
		高齢者見守り	一人暮らし高齢者への見守り・緊急通報体制が不十分。
		高齢者見守り	一人暮らし高齢者の見守り・コミュニケーション不足。
		福祉タクシー	福祉タクシーを活用しやすく
		人間ドック	後期高齢者の人間ドックの個人負担が高い
		地域運営組織	地域運営組織の人材（人手、後継者）不足
		コミュニティ	「94歳と高齢で、話し相手が来ればいい」
		移動手段、情報提供	近隣に救急告示病院（渡辺病院）があり施設面は充実している一方、高齢者の移動手段不足や情報不足がボトルネック。
		在宅福祉	「在宅介護宅へのヘルパー支援（要介護以外）の休日の確保」「支局に保健師がいなくなった」
		介護タクシー	「介護タクシー・福祉助成」
		まず健康	「健康であること」
		救急 & 所要時間	「救急車が来ても受け入れ病院が決まらず待つことがある」「救急搬送先に時間を要する場合がある（受け入れ先困難）」「病院まで（急病）時間がかかる」
		安心	「昼間、一人になる高齢者を訪問してくれるとありがたい。仕事で家を空けるので心配」「ひとり暮らしの方などワンブツシュで緊急連絡できる様なものがあればいいと思う」
		介護人材	「介護されている人が多くなり、介護職の人が不足している」
		制度の周知	「どのような医療福祉制度があるのか、わかりやすくしてほしい」
		介護施設の充実	「施設の人員不足でサービス提供、受け入れに支障が出ている」「老人ホームに入れない」「他地域に比べ、全体的に旧量が低い」
		その他	「新見高校の生徒を増やす工夫を考えてほしい」
	解決策	医療体制整備	出産時の移動支援：出産に係る交通費の行政支援。
		医療体制整備	産婦人科や小児科を含む総合病院の建設を求める意見が複数チームから提示。

令和 7 年度 議会報告意見交換会における意見とりまとめ一覧表

テーマ：安全安心のまちづくり

分類	課題・解決策	項目	実態・意見・要望
		医療体制整備	総合病院の設立を行政主導で推進し、複数科（産科・小児科・救急）を統合。
		医療体制整備	市内への救急指定病院の設置を強く要望（関係機関との調整着手）。
		医療体制整備	広域救急体制の安全確保：岡山県のドクターヘリ稼働状況を調査し、運航確保に向けた対応を要請。
		医療体制整備	オンライン診療導入、ドクターヘリの夜間運行を要望。
		夜間の安心	「夜間のドクターヘリ運行を」
		医療体制整備	患者が安心して継続受診できる相談・予約体制の整備。
		医療体制整備	休日診療の拡充：日曜・祝日対応への増加検討。
		医療体制整備	医師確保に向け、市の助成金など資金投入を提案。
		医療体制整備	医師確保に向けた市独自の助成制度・住宅支援を強化。
		医療体制整備	診療所の担当医を一定期間固定する運用へ見直し。
		医療体制整備	地域ニーズの的確把握へアンケート等の実施を提案。
		医療体制整備	医療情報の整備：専門外受診時の相談窓口・情報集約の強化。
		医療体制整備	病院を統合し、総合病院を新設し、診療の充実
		医療体制整備	医療の改革でまずは人材確保
		病院	「市内の病院を統合して行きやすくしてほしい」「休日当番医の拡充を」「救急で緊急性を要する場合、県南の病院へ直接搬送できる手段を」
		病院	「病院を統合して総合病院一か所で受診できるようにしてほしい」
		病院	「病院を統廃合して、夜間の受け入れ態勢を充実させる」「新見市がリードして早期に病院統合を実現してほしい」「統合に向けてのスケジュールを市民に明確に示してほしい」「医師の給料を市が補助する」
		病院統合	「病院を統合し、総合病院の建設促進」「市内の病院が一つにまとまり、総合病院を作る」
		医療費	高齢者の医療費負担軽減に関する市議会から国への意見提出。
		医療費	助成金の見直し
		健康管理	住民の健康管理支援として、スマートウォッチ購入補助制度の創設検討。
		健康管理	野菜を育てる事など体を動かす
		健康管理	人生を楽しみ健康でいること
		健康管理	元気広場の利用や i チャンネルの体操をすること
		健康教室	「健康体操など健康教室の開催」
		民生委員	民生委員の待遇改善（報酬引き上げ）で担い手増を図る。
		民生委員	民生委員報酬の引き上げ・支援員育成により担い手確保。
		高齢者見守り	情報連携の強化：民生委員・地域住民が担当課へ密に情報提供し、支援につなげる体制を徹底する。（例：移動支援が必要な高齢者の把握、通院支援や見守りの継続的共有 など）
		高齢者見守り	見守り体制強化：AI通報システムやセンサー型デバイスの導入を検討。
		高齢者見守り	エアコン設置補助・電気代助成など、猛暑対応策を実施。
		高齢者見守り	高齢者見守り強化：サロン開催の促進、2人体制の訪問活動。
		介護人材確保	介護人材確保に給料を上げる
		在宅を支える	「買い物等に運行の社協のバスを大佐に配置を」「老人対策でデイサービスの充実を」「支局に保健師の再配置を」
		近助	「人間同士、地域間のコミュニケーションをとり、誰がどこにいるか、近所でわかりあえる間柄を作る」「集落単位での見守り活動」
		困っている人の情報共有	「地域の民生委員児童委員を中心に、情報共有と困っている人の情報を福祉機関につなげる」
		組織	「新見市と社協が協力し合って買い物支援者を特定し、重点的な支援をしてほしい」「色々な団体が独自の取り組みをして、統一性が薄いような感じがする」
		介護人材確保	「施設にではなく、必ず職員に行き届くような補助金を出す（給料面）」「介護施設の職員給料を上げてやる」「外国人労働者を採用する」
		介護にレンタカー助成	「介護送迎のため、レンタカーを利用すると 7 0 0 0 円くらいかかる。レンタカーの介護利用に対する助成制度を」「各支局に介護タクシーを配置できないか」
		福祉タクシー	福祉タクシーの増車
		買い物	「移動販売車の活用」「買い物難民の把握」

(別紙2)

令和7年度 議会報告意見交換会における意見とりまとめ一覧表

テーマ：安全安心のまちづくり

分類	課題・解決策	項目	実態・意見・要望
		買い物	「高齢者が買い物に行けない」「買い物に行けない」「地域に店がない」「公共交通を使用時、重い物の買い物ができない」
地域 防災	課題	災害	近年大規模災害が少なく、防災意識の希薄化が最大の課題。
		災害	災害時の道路寸断や避難所の電源確保への懸念。
		災害	主リスクは土砂災害。道路分断による集落孤立の懸念。
		災害	浸水対策：令和元年水害時、JR高架下で最大60cm浸水。JR工事に伴う暗渠の排水能力不足が一因と見られる。西方公園下にも同様の懸念。
		災害	水害時の孤立地区対策：一部地区が水害時に孤立。地形要因から移住以外の根本的解決が困難。
		災害	地域が広いが故に救助に時間がかかる。
		災害	山林内の道が荒れている火災発生時には行けない
		災害	緊急時の医療体制が不安
		災害	災害時の公民館の収容人数が少ない
		災害	市民の防災意識の高揚
		災害	災害発生時に備えた事前の道路整備
		災害	実働的な防災組織が無い。 定年が伸びて昼間に動ける若い人がいない
		災害	地域での防災訓練が出来ていない。取り組むべき訓練モデルを示してほしい
		災害	夜間ドクターヘリの運行
		災害	「災害対応が遅い」
		防災関係組織	「災害時の高齢者の安否確認方法」「小地域の自主防災組織が少ない」
		自主防災組織と行政の連携	「自主防災組織の具体的実施内容について、市としての説明が不足している」
		防災意識	「個々の防災意識の向上」「災害が少なく危機感が薄い」
		防災グッズ	「防災グッズが高い」「防災グッズを揃えてもキリがない」「防災グッズの充実」
		避難所	避難所の物資不足（水・毛布等）。
		避難所	野馳小学校の耐震未整備。
		避難所	停電時対応の発電機不足（高齢者が多い哲西荘への配備が不十分）。
		避難所	野馳小学校プールの飲料化設備の操作方法が未継承。
		避難所	避難所の位置が危険地域（河川付近）にあるケースがある。
		避難所	高齢者にとって市民センター等の遠距離避難が困難。
		避難所	「上熊谷の避難場所（熊谷センター）は、いざという時、危険である」「地震で大勢の被災者が出た場合の避難はどうするのか」
		避難所	「開設できない避難所がある」
		避難	「夜間の災害への避難等の対応」「山間地にあり土砂災害が気になる」「災害時、孤立する可能性のある集落が多い」
		災害情報伝達	災害時の情報伝達（市内放送・アプリ活用）が不十分で、保護者がパニックに陥った事例あり。
		災害情報伝達	線状降水帯や豪雨時の避難対応が十分に共有されていない。
		災害情報伝達	災害時の情報伝達（放送・アプリ・連絡網）が混乱しやすい。
		災害情報伝達	災害時の状況把握・安否確認手段の不足。
		広報の充実	「林地作業道の安全性の周知を」
		消防	消防団員の不足・高齢化が進行。
		消防	消防ホースや防火用水が老朽化・未点検。
		消防	放水訓練での水不足、簡易給水施設から濁り水が出ると地域の反対があった
		鳥獣対策	熊の目撃増加により住民の安全が脅かされている。
		鳥獣対策	イノシシ等の鳥獣被害対応の遅れ。
		鳥獣対策	有害鳥獣被害（イノシシ・シカ等）の増加。
		鳥獣対策	鳥獣による落石の被害
		鳥獣被害	「鳥獣被害、特にサルの被害対策（助成）」「今からクマ被害に備え、猟友会員増大・出動手当の増加を考えるべき」
		鳥獣被害	「鳥獣害（特にクマ）対策」

令和7年度 議会報告意見交換会における意見とりまとめ一覧表

テーマ：安全安心のまちづくり

分類	課題・ 解決策	項目	実態・意見・要望
		鳥獣対策	「鳥獣被害の対策が追い付かないので、身の危険を感じる時がある」
		防犯	防犯面の脆弱性：警察との関係希薄化、防犯灯・防犯カメラ不足。
		防犯	防犯灯の維持管理：将来的に電気料金負担により防犯灯の維持が困難となる懸念。
		防犯灯	「夜間が暗い」「防犯灯が少ない」
		防犯カメラ	「防犯監視カメラがない」
		林地の・作業道 & 保育管理	「木材伐採の作業道が多く、大雨で崩れないか」「山林の間伐が進んでなく、大雨で崩れやすい」
		災害時道路対応	「災害時の道路の整備」
		道路	「市道の安全確保」
		道路	「道路沿いの草刈りが間に合わない」「支障木の撤去が間に合わない」「落石が度々発生する場所がある」
		土砂崩れ・危険 家屋	「土砂崩れしやすい県道が多い」「市道に空き家から瓦が落下しそうで、垂木も落下している」
		危険家屋の撤去 働きかけ	「瓦落下の家屋持ち主に（撤去の）強力な働きかけを」
		道路危険箇所	「倒木などの処理が遅い（電話線など）」「落石が多発」「県道、市道における雑木が多数発生し、大型車の走行が困難」「大雨が降ると、道路（国県道）が通行止めとなり、どこにも行けない」
		倒木・落石・草	「倒木の恐れがある場所は、事が起こらないと手が出せない」「森で隠れた崖上にいつ落ちるかわからない大きな石がある」「落石を処理してくれない」「市道に草が伸び放題」
		河川	「河川の浚渫を全体でやってほしい」
	解決策	防災訓練	防災意識向上のため、電気やトイレを使わない「被災体験会」や防災キャンプを実施。
		防災訓練	消防団と地域組織の協働による訓練や防災キャンプの実施。
		防災訓練	避難計画・訓練：地域集会所を第一避難場所として明確化、災害規模に応じた段階的避難・計画の策定、平時からの訓練実施。
		防災訓練	設備運用の継承：プール飲料化設備の手順文書化・定期訓練。
		防災訓練	地域防災の課題をしっかりと市が把握して欲しい
		防災グッズ	「防災グッズ購入の補助と、必要最小限のグッズの無料配布」
		消防団との連携	「地域組織と消防団との連携強化」「避難困難者の把握」 ＝歳を取ると最後は「足の確保」じゃなあ＝
		近助	「普段から近所付き合い、近所隣同士の声の掛け合い」「合言葉を決めておく」
		避難所	各公民館・避難所に発電機を配備し、平時はイベント等へ貸し出して有効活用。
		避難所	各地域の避難所を安全な立地へ再設定し、物資・発電設備を常備。
		避難所	施設整備：野馳小学校の耐震化推進、哲西荘への発電機増設。
		避難所	地域の公会堂を一次避難所とし、そこから市民センターへ移動する二段階方式を採用。
		避難所	一次避難所（公会堂）に電源・備蓄品を整備し機能強化。
		避難所	「避難所として開設できるよう、普段使用している法人も協力体制をとる」「使える避難所に集約する（一次避難所を見直す）」
		避難交通の確保	「避難するための交通手段を確保する」
		災害情報伝達	災害時の情報伝達強化として、市内放送や市公式アプリの一層の活用を推進。
		災害情報伝達	防災放送・市公式アプリを併用した多重情報発信体制を構築。
		災害情報伝達	特殊詐欺を“災害”の一形態と捉えた注意喚起・情報共有の強化。
		災害情報伝達	ドローン活用：地域防災組織や農業関係者が免許取得し、災害時の安否確認・被災把握に活用。
		災害情報伝達	ドローンの高額な免許取得費用への市の補助制度創設を検討。
		災害情報伝達	ドローンの導入主体・運用手順・予算枠を明確化した実装計画の策定。
		災害情報伝達	住民の意向を尊重しつつ、早期の情報提供と避難勧告の徹底を図る。
		情報	「告知放送を活用し、早めの避難を呼びかける」「ICTを活用した災害時の情報共有」
		情報	「災害の情報をスマホ発信し、情報を集めるシステム構築を」
		消防	消防団員不足を補うため、消防署機能の充実や活動範囲の見直し。
		消防	消防設備（ホース、防火用水等）の点検・交換を定期化、補助金は全額支給へ。

テーマ：安全安心のまちづくり

分類	課題・ 解決策	項目	実態・意見・要望
		鳥獣対策	熊の生息数を正確に調査し、適切な頭数管理（駆除）を求める。
		鳥獣対策	鳥獣被害対策の担い手を育成し、報酬・手当を拡充。
		鳥獣対策	鳥獣対策：被害情報の集約と、それに基づく捕獲・侵入防止等の対策検討。
		鳥獣対策	鳥獣対策、駆除へのお金UP
		鳥獣対策	イノシシ、シカ、サルなどワナや猟師さんへの補助金や電柵への補助
		鳥獣対策	市長へ超獣害対策費の拡充を
		鳥獣被害対策	「猟友会と市が仲良くやってもらう」
		鳥獣被害対策	「モンキードッグの養成」「サル被害対策でたんかん設置補助制度新設を」
		防犯	防犯強化：防犯灯・防犯カメラの行政主導設置、警察との連携再構築。
		防犯	振興会が維持管理主体となり、太陽光発電型防犯灯の設置補助を市へ要望する。
		インフラ整備	排水溝・排水管の改良を市へ要望する。
		道路	「市道、剣道等の整備費を増やす」「道路脇の障害木は、地権者の許可なしでも伐採できるよう、市独自の法律を変える」
		落石防止	「落石防止ネットの設置」
		パトロール	「パトロール車の巡回強化。特に落石」「建設課のパトロール強化」
		その他	スモールシティー化
その他		総括	交通・医療・防災の個別課題解決には、根本的に市の人口増が必要との認識で一致。
		総括	市外・県外からの移住者を増やす魅力づくりが、結果的に全課題の解決につながるとの結論。
		総括	<p>乗り合いタクシーに関する議論は単なる交通課題にとどまらず、医療・福祉・防災・地域運営の包括的課題として捉えられている。</p> <p>地域住民が安全・快適に移動できる環境の整備は、買い物・通院・防災・観光など多方面の生活基盤を支える「地域活性化の要」と位置付けられている。</p> <p>特に、高齢者の生活支援や通院利便性向上、若年層の定住促進（産科・小児科・雇用環境整備など）、地域運営組織の育成による地域内経済循環、災害時の移動・避難手段の確保が一体的に進められなければ、持続可能なまちづくりは困難との共通認識が示された。</p> <p>結論として、「交通インフラ」「医療体制」「地域コミュニティ運営」「防災連携」の4分野を横断的に連携させることで、“移動から始まる地域の自立と再生”を目指す方向性が導かれている</p>
		高校の統合	広域連携：生活圏の実態に合わせた県境越えの行政連携（例：岡山県立新見高校と広島県立東城高校の統合案）。
		携帯電波の改善	通信環境：NTTドコモの携帯電波の改善要望。
		議会改革	議会改革の促進：参加者に商品券等を提供するクイズ型アンケートの導入提案。
		財源確保策	財源確保：火葬場の残骨灰からの有価物回収・売却で斎場環境改善費へ充当。
		自転車保険啓発強化	周知徹底：県条例で義務化された自転車保険加入の啓発強化。
		農業・人口	新規就農23世帯（約70人）受入の成果。一方で高収益果樹への集中により、米の担い手不足。人口は年500～600人減少、働き場所不足が要因。
		デジタル活用	電子投票・PC教室等のラストワンマイル事業が現在は活用されず。確定申告等に使える学習機会の再設計要望。
		行政運用	投票所減少による投票率低下懸念。スクールバス規則の時代適合的見直しなど、柔軟な規則運用を求める声。